

民主青年新聞

●ホームページ www.dylj.or.jp ●Eメール minsins@dylj.or.jp

見どころ

「資産所得倍増」よりも暮らしの改善を 「新しい資本主義実行計画」(3面)

友だち付き合いはどうしてる? 高校生の人間関係を考える(6、7面)

全国一律最賃1500円で、若者の月収手取り20万円以上を一緒に実現しよう(10、11面)

青年の力で新しい社会をつくろう!



▶青年のスピーチを聞く本部会場の参加者

6月11日、日本共産党と民青同盟は共催で「参院選直前! 青年・学生全国集会」(オンライン)を開きました。日本共産党の志位和夫委員長が間近に迫った政治戦の意義や青年向けの政策を、全国の青年が政治を変えたい思いを語りました(2面で紹介)。集会のようすとともに、班で活動にとりくむ経験を紹介します。(今井千尋記者)

参院選直前! 青年・学生全国集会

共産党の躍進が切実で緊急

志位氏は今回の政治戦について「平和と暮らしがかかっている。日本共産党の躍進が切実で緊急な意義を持つ」と述べました。

9条生かした平和外交

1つ目の大きな問題として、ウクライナ侵略に便乗した自公政権や維新の会による「核には核」「9条改憲」に触れ、「二つの大きな危険」を挙げました。

一つは「専守防衛」の原則を放棄することです。政府が、集団的自衛権を行使する際にも「敵基地攻撃能力」を使える見解を示していることに対して、自衛隊が米軍と共に相手国に攻め込めば「日本に戦火を呼び込む」と指摘します。



▲志位氏は、東南アジア諸国連合 (ASEAN) と力を合わせて東アジアサミット (EAS) を発展させ、東アジア全体を戦争のない地域にする「外交ビジョン」を語った

「賃金上がる国」へ

もう一つの危険は、この道に進もうとすると軍費を大きく増やすことが必要になり、暮らしをおしつぶすことです。「消費税の増税、教育費や社会保障の大削減につながる」と批判します。日本共産党は、東アジアで地域のすべての国を包み込む包摂的な平和の枠組みを提案しています。

志位氏は「日本こそ憲法9条を生かした平和外交をするべき」と強調します。

二つ目の大きな問題は暮らしです。志位氏は、物価高騰で生活が苦しい理由として賃金が上がっていないことを指摘。新自由主義を転換して「やさしく強い経済」をつくる5つの提案から青年・学生向けの政策を紹介しました。

「EUにおける透明で予測可能な労働条件に関する指令」

(2019年)より作成
※第4条、第10条、第11条

シフト変更の際には、合理的な
事前告知期間を設定する

突然のシフト変更と、それを拒否
したことによる不利益を禁止する

最低限の労働日数と賃金支払い
を保障する

▲共産党は「指令」を参考に、新たな法規制を行うことを提案している

つながりへの対話踏み出す

愛知のタッチザハート班に、つながりへの対話も始まっています。班員の西田優紀さんは、ラインで若者向けの政策をまとめたチラシデータを送り、すでに家族や職場の同僚など10人ほどの対話を行っています。

「変えよう決議シート」の討議では「9条生かす外交を重視したい。軍拡が必要と思う人も平和が良いと思う」という意見で共産党を支持してくれた元同僚に再び支持をうった。今回の政治戦は命と暮らしを守ることがかかった選挙。改憲された後、共産党を躍進させたい。思いについて「9条守ると思っているのは共産党だけではないから応援してほしい」と言っているのは共産党だ。とラインで送ると、「パー」と支持を得られました。

「企業献金がないからこそ大企業に応分の課税と上げたい」と、対話の経験から、班員の立ち上りを励ましています。

参加した青年からは「共産党の政策は青年の思いとマッチしていると強く感じました」「平和の願いを託せるのは共産党だと語っていかないとダメだ」と感じました。

集会の最後に、西川民青委員長は「日本共産党と一緒に政治を変えよう決議」をあげ、全班・全同盟員で議院議員があいさつしました。

変更とそれを拒否したことによる不利益の禁止、最低限の労働日数と賃金未払いの保証といった新たな法規制をつくり出す(右図)。

学費値下げ

3つ目が、大学等の学費の値下げです。学費半額、入学金ゼロ、「自宅4万円、自宅外8万円」の給付奨学金を75万人が利用できる制度の拡充などを掲げます。志位氏は「受益者負担主義ではなく、社会を支える若者を育てることは社会の責任。力を合わせてお金でいていこう」とつたえまし

シフト制労働者の条件改善

2つ目が、シフト制労働者の条件改善です。使用者側が勤務日数や労働時間を都合よく決められる事態を改善するために、シフト変更の際に合理的な事前告知期間の設定、突然のシフト

さらに、今回の政治戦で共産党を大きく伸ばすことが市民と野党の共闘の前途を開く推進力になると述べました。

志位氏は「政治戦を通じて対話・支持を広げると同時に

(2面につづく)